

- 月日** **できごと**
- 4 本市が3年連続「住みたい田舎ベストランキング」で四国エリア1位
 - 12 第6回LRT都市サミット松山2017を開催(～13日)
 - 27 第5回全国城サミットin松山を開催(～28日)
 - 28 「いい、つばきの日」記念セレモニー・イベントを開催(フェスティバルは～3月31日)
 - 1 東京海上日動火災保険(株)と地方創生に関する包括連携協定を締結
 - 3 子規・漱石生誕150年記念 インターナショナルフォト・ハイク(国際写真俳句)フェスティバルを開催
 - 4 第56回愛媛マラソンを開催
 - 14 久枝地区まちづくり協議会設立総会を開催
 - 15 まつやま教育研修センターフェスタ2018を開催
 - 16 早坂暁さんに市栄誉賞を授与
 - 17 第12回まつやま農林水産まつり、全国ご当地こなもんサミット2018in三津浜、環境モデル都市まつやま環境フェア2018を開催
 - 18 子規・漱石生誕150年記念 響け!!言葉 第10回「ことばのがっしょう」群読コンクール坂本分団窪野消防ポンプ蔵置所が完成
 - 23 第6次松山市総合計画後期基本計画を策定
 - 1 第22回防災まちづくり大賞(日本防火・防災協会会長賞)受賞
 - 6 第10回みんなて選ぶ温泉大賞で道後温泉本館が全国5位
 - 11 在原幼稚園の新園舎が完成
 - 12 新編「ふるさと松山学 先人伝」が完成
 - 16 (株)伊予鉄グループと地域の魅力と市民生活を高める包括連携協定を締結
 - 18 秋山真之生誕150年を記念し、シンポジウムや秋山真之祭2018などを開催(21・24・25日)
 - 26 愛媛大学、県法人会連合会とデータ活用に関する連携協力協定を締結
 - 27 人口50万人以上の都市の中で1人1日当たりのごみ排出量が2年ぶり10回目の最少を達成(平成28年度実績)
 - 30 子規ゆかりの「御所柿」を花園町通りに植樹
 - 松山衛生事業協同組合と「災害時の下水道施設のみ取り等に関する協定書」を締結
 - 1 地域おこし協力隊、忽那諸島に新たに1名就任
 - 7 南部児童センターが来館者100万人達成
 - 10 市消防局職員が科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫労働者賞を受賞
 - 14 道後オンセナート2018がグランドオープン(～平成31年2月28日)
 - 21 「ミシュランガイド広島・愛媛2018特別版」が出版
 - 23 立岩地区まちづくり協議会設立総会を開催
 - 8 味生地区まちづくり協議会設立総会を開催
 - 18 まつやま働き方改革シンポジウム～変わるや、変えよや、ワークワクまつやま～を開催
 - 27 浅海分団消防ポンプ蔵置所が完成
 - 29 「北条鹿島」恋人の聖地観光交流賞を受賞
 - 1 本市の広報特別番組が平成30年全国広報コンクール映像部門で総務大臣賞を受賞
 - 7 坂の上の雲ミュージアムが来館者160万人達成
 - 20 北条児童センターが来館者10万人達成
 - 22 古川ふれあいセンターが完成
 - 29 「花園町通り」が「平成29年度全建賞(都市部門)」を受賞
 - 2 河野地区まちづくり協議会準備会設立総会を開催
 - 6 砥部町と汚水処理に係る事務の委託に関する協定を締結
 - 平成30年7月豪雨
 - 資生堂ジャパン(株)と椿パートナー協定を再締結
 - 10 新副市長に北澤剛氏が選任
 - 13 光のおもてなしin松山城2018を開催(～8月15日)
 - 24 高浜地区まちづくり協議会準備会設立総会を開催
 - 27 BAM(マレーシアパドミントン協会)・愛媛県・砥部町とオリンピックの事前合宿に向けた基本同意書に調印
 - 1 すくすく・サポート(子育て世代包括支援センター)を市内5カ所に開設
 - 「福祉総合窓口」を「福祉・子育て相談窓口」にリニューアル
 - 10 第53回松山まつりを開催(～12日)
 - 18 第21回俳句甲子園全国大会を開催(～19日)
 - 21 「旅好きが選ぶ!日本の城ランキング」で松山城が3位
 - 24 姉妹都市提携30周年記念 第6回松山・フライブルク姉妹都市交流演奏会を開催
 - 26 第33回トリアスロン中島大会・第24回ジュニアアクアスロン大会を開催
 - 28 (株)ハウスメイトパートナーズと市外に進学した学生などの松山へのシビックプライド向上に関する連携協定を締結
 - 9 6 姉妹都市提携30周年記念 フライブルク市代表団来松(～9日)
 - 14 MATSUYAMA DESIGN WEEK(松山デザインウィーク)を開催(～24日)
 - 15 PR動画「道後温泉歓迎楽団 桶ストラ」が「CCE AWARD 2018」でCCE賞を受賞
 - 18 市自主防災組織ネットワーク会議副会長が平成30年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
 - 22 月のおもてなしin松山城を開催(～23日)
 - 24 坊っちゃん文学賞トークイベント「親親りの無鉄砲」を開催
 - 28 (株)NTTドコモと地方創生に関する連携協定を締結
 - 第1回松山ワカモノ宣伝会議を開催
 - 29 俳都松山×俳句ポスト50周年「～秋高し俳句ポストの五十年～」を開催
 - 1 新刊「ふるさと松山学」完成披露イベントを開催
 - 住民票の写しなどのコンビニ交付サービスを開始
 - チャイニーズ・タイペイU-23野球代表チームの合宿受け入れ(～12日)
 - 広報まつやま創刊70年記念特集号発刊
 - 3 「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」と「花園町通り」と松山アーバンデザインセンターが取り組んだ「移動する建築」が「2018年度グッドデザイン賞」をトリプル受賞
 - 6 明治150年記念 松山城イベント(本丸甲冑試着体験など)を開始(～平成31年3月31日)
 - 14 明治150年記念 第35回まつやま市民シンポジウムを開催
 - 15 「松山城周辺地区」が「2018年アジア都市景観賞」を受賞
 - 23 「ことばのちから実行委員会」が「戦後愛媛のイノベーション30選」に選定
 - 11 3 松山ブンカ・ラボ・キックオフシンポジウム「アートは社会の役に立つのか?」を開催
 - 23 明治150年・秋山真之生誕150年記念シンポジウム「村上海賊から秋山真之へ-受け継がれる海の歴史」を開催
 - 28 野志市長就任(3期目スタート)



旧北条市出身の作家・早坂暁さんは、松山市を舞台にした作品を多く生み出し、地域のにぎわい創出と本市の全国的な周知に尽力いただき、「坊っちゃん文学賞」では、創設から30年にわたり審査員を務められました。その功績をたたえ、「市栄誉賞」を授与しました。10月28日には、北条鹿島に句碑を建立しました。



昭和63(1988)年の姉妹都市提携調印から今年で30周年を迎え、マーティン・ホーン フライブルク市長をはじめとする代表团が9月6～9日に来松。友情の証「ライラック」の木をまつやまRe・再来館に植樹するなどしました。

「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」「花園町通り」松山アーバンデザインセンターの「移動する建築」がグッドデザイン賞トリプル受賞



「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」「花園町通り」と松山アーバンデザインセンターが取り組んだ「移動する建築」が、デザインやアイデアを評価され、(公財)日本デザイン振興会主催の「2018年度グッドデザイン賞」をトリプル受賞しました。

「道後オンセナート2018」グランドオープン



アートの大祭「道後オンセナート2018」が4月にグランドオープン。昼も夜も楽しめる「まち巡り」と、全国でも類を見ない長期開催が特長。今回は「オマージュ(賛歌)」をキーワードに、25組のアーティストが道後のまちを彩ります(会期は平成31年2月28日まで)。

賑幸(振興)



生き生きと働いて幸せに暮らせる社会を創るため「まつやま働き方改革シンポジウム～変わるや、変えよや、ワークワクまつやま～」を開催。サイボウズ(株)・青野社長の基調講演のほか、野志市長らがパネルディスカッションなどを行いました。

「いい、つばきの日」セレモニー



市の花「つばき」に愛着を持ち、市民の皆さんにさらに笑顔が広がることを願い、1月28日を「いい、つばきの日」に制定。記念セレモニーやイベントを子規記念博物館などで開催しました。

真之生誕150年記念イベントを開催



秋山真之生誕150年を記念し、真之ゆかりの地を訪ねるフィールドミュージアムツアーやシンポジウムなどを開催しました。

松山市駅前広場の整備イメージを発表



「歩いて暮らせるまち、の実現に向けた「松山市駅前広場改変構想(案)」が9月27日、検討協議会で承認されました。この事業の推進で、公共交通の乗り継ぎ利便性の向上や賑わいの創出を図り、中心市街地をさらに活性化します。

「第5回全国城サミットin松山」を開催



城郭や城下町の魅力を全国に発信し、地域を活性化するため、シンポジウムやイベントが行われました。松山城は「旅好きが選ぶ!日本の城ランキング」で3位、松山城周辺地区が「2018年アジア都市景観賞」を受賞したほか、天守入場者数が平成28・29年度の2年連続で50万人を突破しました。

住民票の写しなどのコンビニ交付サービスを開始



市民の皆さんの利便性を高めるため、マイナンバーカードを使ってコンビニなどで住民票の写しなどの各種証明書が取得できるコンビニ交付サービスを10月1日から開始。毎日6時30分～23時(12月29日～1月3日は除く)に利用できます。

新刊「ふるさと松山学」完成



子どもたちのふるさとへの愛着や誇りを育むため、松山ゆかりの先人などの話が詰まった「語り継ぎたいふるさと松山 百話」全7冊を1冊にまとめた「広がれ!ふるさと松山の心」が完成し、10月1日に完成披露イベントを開催しました。

市内5カ所に「すくすく・サポート」オープン



出産や育児への不安を軽減し、安心して子育てができる環境をさらに充実するため、市内5カ所に子育て世代包括支援センター(愛称「すくすく・サポート」)を8月1日に開設。専任の保健師が常駐するほか、栄養士が栄養相談も行うなど、松山の宝である子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境を充実しました。

高齢者いきいきチャレンジ事業を開始



健康寿命を延ばし、元気に長生きしていただくため、市内在住の65歳以上の高齢者を対象に、特定の事業に参加するとポイントがたまり、道後温泉別館 飛鳥乃湯泉の入浴券と交換できる「高齢者いきいきチャレンジ事業」が10月から始まりました。

健幸(健康)



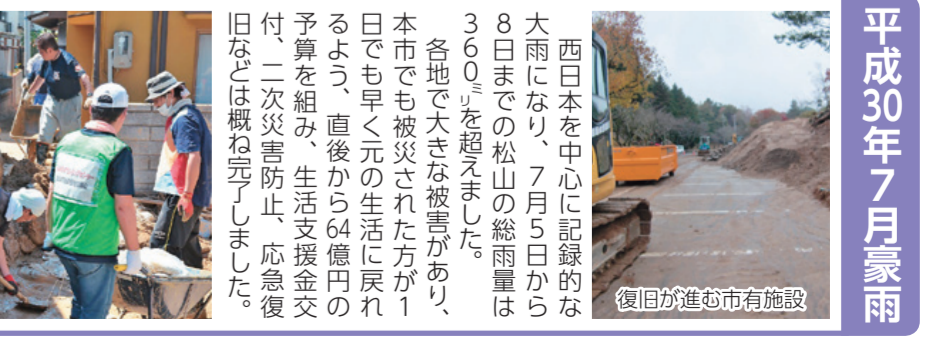
総務省の第22回防災まちづくり大賞(日本防火・防災協会会長賞)を受賞しました。平成25年度の消防庁長官賞に次いで2回目です。大学生にターゲットを絞り、地域や産官学民で連携して環境を整え、「若い世代へ防災教育」を実施し、将来の地域防災をけん引する人材を育成している点が評価されました。また、平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫労働者賞を市消防局職員が3回目の受賞。

幸共(公共)



延べ1,713人のボランティアや合計2,300万円の義援金などをいただいています。復旧には時間を要するものもあります。引き続き、皆さんの心に寄り添いながら、全力で対応していきます。

「LRT(ライトレールトランジット=次世代型路面電車を活用した新しい交通システム)」の導入に取り組む11の自治体の代表が松山に集い、LRTの都市サミットを開催。官民で連携して進めている本市の取り組みや各市の施策紹介などを行いました。



平成30年7月豪雨

特集 市政この1年

道後オンセナート2018のグランドオープンやドイツ・フライブルク市との姉妹都市提携30周年など、市民の皆さんに笑顔が広がる出来事を中心に今年1年の市政を振り返ります。(11月30日現在)